

自主 共同 創造

使用者委員 久永修平

「自主」「共同」「創造」これは、私の母校、鹿児島市立甲南中学校の「校訓」です。甲南中は、毎年、全体同窓会を開催しています。一期生（昭和 24 年卒業）の大先輩から 30 代の若い後輩まで多くの卒業生が集います。同じ校区内、地域で中学時代を過ごした地域限定の 50 歳以上世代を超え、歴史を重ねた、超異年齢の深い繋がり楽しい同窓会です。

その中で、改めて「校訓」を見たときに中学生ではなく社会人になって年齢を重ねた今、深い意味がある言葉だと感じます。

中学生の時は、校訓の意味について、深く考えることもなく、「自主的に学業、スポーツに励み」「友達と仲良く学校での共同生活を楽しまし」「創造??想像??妄想??」くらいにしか思いませんでした。

今、大人として改めて考えてみると・・・

「自主」・・・自分で決める事。実行する事。

他人の干渉を受けない。他人の力を借りない。

自分自身が責任を持って事を運ぶ事であり、そのためには、常に「学び」、「考え」「決断」「実行」する。失敗しても、諦めずに再度、「学び」、「考え」「決断」「実行」、再チャレンジする事が大切だと思います。その繰り返しが「自立」した大人、社会を創ると思います。また、「自主性」を育むためには、権限を移譲し任せることも人材育成のために大切な事と感じます。

「共同」・・・力を合わせる事。助け合う事

相手の立場に立つ。思いやり。

社会生活の中でも一番の「共同」は家庭、家族だと思います。今年で結婚生活 27 年が経ちます。早いもので子供達は県外へ行き、今が無事にある事に家族に感謝です。子供が幼稚園の頃、私が「行ってきます！」と言うと、子供が「パパまた来てね！」と返ってきた言葉に・・・！家族の「共同」は失格でした。その事を反省し今があり、これからも大事にしたいと思います。

仕事、地域、国、世界の「共同」は、人として、一人一人の相手への思いやりの絆を大事にする事だと思います。

「創造」・・・新しいものを造り出す事。初めて創り出す事。

真の意味での「新たなもの」「今までにないもの」を作り出す事は、結果として容易ではありません。しかし、「新たなもの」「新たなこと」を自分で、みんなと共同で協力しながら考えるプロセスは大事だと思います。その中で出た創意工夫、アイデアが新たな変革、進化を生み、「明るく豊かな社会」を創りだしていくと感じます。

取り留めのない事を書きましたが、改めて母校の校訓を考え、労働委員会の中での労働問題の解決にも繋がると考えています。使用者側、労働者側の意識改革、労使関係の構築も「自主」「共同」「創造」の中に答えの糸口があるように思います。